



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

12月の援農は1411.5時間(無償研修は無し)、援農参加者は42人、受け入れ農家は12軒でした。今年度累計は18419時間で、昨年度比139%でした。
作業内容は、収穫と出荷調整(大根、かぶ、人参、ごぼう、ねぎ、小豆、里芋、八頭、さつまいも、春菊、小松菜、ほうれん草、赤カブ、ブロッコリー)、肥料やり、トンネルかけ(ネギ、ほうれん草)、片づけ(ハウス、わら、インゲン、オクラ、人参、カブのネット)、ハウス解体、大根貯蔵、苗植え(玉ねぎ、花、トマト)、播種(トマト)、イチゴ手入れ、桑切り、草取り、選卵と卵パック詰め、球根植え、リース作り、お正月飾り作りなどです。

新しく入会された方

山田遼太郎さん(館町)



イベント情報

通常総会とお話会

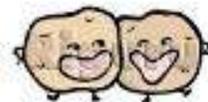
日時:平成26年2月15日(土) 場所:八王子市役所 地下1階 食堂
10時~12時 通常総会(昼食)
13時~15時 『すずしろ22の歴史』お話し会(講師:飛田恵美子)
会場の食堂でお弁当の用意をします。2月10日迄に出欠の連絡をお願いします。
連絡は2月1日発送の総会資料をご覧ください

研修農園受講生募集

富所農園内に研修農園を開設します。目的は、援農ボランティアに参加するに当たり、基本的な農業知識やマナーを身に付けていただくことと、一連の農作業を自ら実践することにより、農業への関心と理解を一層深めていただくことです。今年度1回目の研修内容は、3月~6月の4カ月間に、じゃがいもなどの春植え野菜を農家会員の講師に指導していただき、作付けから収穫までを体験するというものです。

定員:4人。 耕作面積:約10m²/人。 費用:500円/人。
応募条件:すずしろ22会員であること、畑での耕作が未経験であること
申込締切:2月15日(申し込み多数の場合は抽選)

申込み先:事務局(625-5656)にファックス/電話 または メールで
尚、月1回の講習は、研修農園受講生以外の方も聴講可能で、申込みは不要です。日にちはその都度会員のみなさんにお知らせします。



理事会・分科会だより



第1回理事会開催 1/15(水) 18:10~21:00

(台町市民センターにて 理事9名 監事2名出席)

- ・報告(援農状況、会計)
- ・総会準備
- ・総会議案書の各議案について内容確認、審議
- ・研修農園について
- ・什器・備品引き継ぎ 等

IT&広報分科会開催 1/7(火) 10時~12時

(イトーヨーカドー狭間店にて。理事2名・会員3名出席)

会計監査 1/11(土) 13時~17時

(子安市民センターにて。理事2名・監事2名出席)

事務局より

すずしろ22のホームページを改訂しました。
アドレスも変わりました。見てみてください。
<http://www.suzushiro22.org/index.html>

ちょっと耳にした情報・アドバイス

八玉子 ごちそうさん!

檜原町 小林忠司(小林養鶏場)

小林養鶏場は、高幡不動で養鶏場をはじめたおじいちゃんが、昭和34年に檜原町に引っ越してきて、今に至っています。飼育している鶏は外国品種のジュリア(白玉)、ポリスブラウン(赤玉)、ソニア(薄茶玉)、それと国産品種のさくら(薄茶玉)です。2月末にはもみじ(茶玉)も加わります。産卵率は最近では外国産と国産で差がなくなってきました。今は、コスト面を考えたり、独自の育て方ができるし、よりよい卵の生産ができることから、ひよこを仕入れて育てていますが、今後、コスト面を考えるとひよこから育てるのが難しくなるかもしれません。飼料は、茨城の日本配合飼料のものを八王子の飼料会社清水飼料を通して使っています。飼育環境によって産卵率が変わります。一部えさにお米やぬかを混ぜて育てている卵もあります。

小林養鶏場の卵は、“八玉子(八王子と玉子をかけて)”と名付けて、自宅での直売のほか、『道の駅八王子滝山』や『ねぎぼうず』で売っています。昔はどこの農家でも飼っていた鶏ですが、今では八王子に3軒の養鶏場しかありません。地産地消、数少ない八王子産の卵、みなさんも、ぜひ食べてみてください。それと、農家さんへ、鶏糞は使いにくいそうですが、畑の肥料にいかがですか? 餌に入れるお米が手に入りにくくなっているとのことですが、情報があったら、ご連絡ください。(聞き取り 大石弘枝)